

受領No.1519

蚕糸業における科学技術導入の社会的影響 —女子蚕糸業教育と女性労働環境の変化を中心に—

代表研究者 齊藤 有里加 東京農工大学 科学博物館 学芸員・特任助教
共同研究者 鈴木(差波) 亜紀子 日本女子大学 文学部史学科 非常勤講師
土井(土金) 師子 日本女子大学 文学部 学術研究員



The Social Impact of the Introduction of Science and Technology in the Sericulture Industry: Focusing on the Education of Women in the Sericulture Industry and Changes in the Working Environment for Women

Representative Yurika SAITO, Nature and Science Museum, Tokyo University of Agriculture and Technology, Assistant Professor, Curator
Collaborator Akiko SUZUKI (Sashinami), Department of History, Faculty of Humanities, Japan Women's University, Part-time Lecturer
Kazuko Doi (Tsuchikane), Faculty of Humanities, Japan Women's University, Research Fellow

研究概要

本研究は、東京農工大学収蔵の旧東京蚕業講習所関係資料のうち、女子蚕糸業教育関連の学術資料の解析により、近代蚕糸業における科学技術の伝播過程を可視化するものである。東京蚕業講習所・東京高等蚕糸学校は、蚕糸業に関わる研究・教育の一大拠点であり、とくに1902年設置の製糸講習科女生本科・別科（以後、製糸教婦科と略称）は学理に基づく官制製糸教婦育成の最初かつ最高峰として特筆すべきものであった。しかし、製糸教婦は技能者としての専門性を評価される一方、科学技術教育との関連性は重視されてこなかった。そこで本研究は、女子教育の視点から蚕糸業教育に着目する日本女子大学研究者と共同研究を試み、東京農工大学に収蔵される資料のうち製糸教婦科関連資料の整理・解読・分析を通じ、まずは同校で行われた女性向け蚕糸業高等教育の実態がどのようなものであったかを、科学技術との関連に注目して検討する。また当時、女子教育が高い専門性を持つことについて否定的な論調があったなかであえて製糸教婦科に入学した学生の意識に注目し、その社会的背景を志望調査書等から検討する。一方、全国的に行われた女性向け蚕糸業教育には科学技術がどのような形で取り入れられているのかを再検討し、あわせて科学技術教育の導入が女性の蚕業教育と労働のあり方に及ぼした多面的な影響を明らかにすることを目的とする。